

オセロの勝ち負けを速く正確に求める方法を見つけよう

単 元	かけ算（2）	対象学年	2 年
ね ら い	オセロの勝ち負けを求める方法を考えることで、かけ算とたし算、ひき算を組み合わせて速く正確に求める方法を学ぶことができる。		

1 準備するもの

教師： オセロゲーム（児童数÷2）台分、デジタルカメラ（オセロ対戦の記録用）
大型オセロ盤（黒板掲示用）

2 学習のしかた

(1) オセロゲームを行う。

- ・ 2人組で、計3回ゲームをする。

(2) 1回目のオセロゲームの結果の1つを取り上げ、白と黒がそれぞれいくつあるか計算で求める方法を考える。

<考え方1>

① 白と黒のまとまりに分ける。

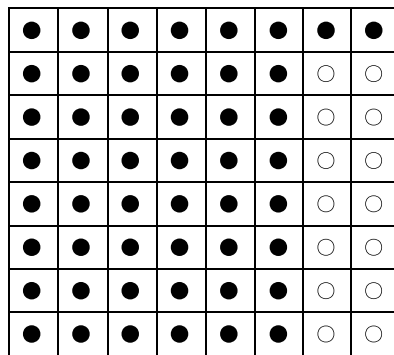
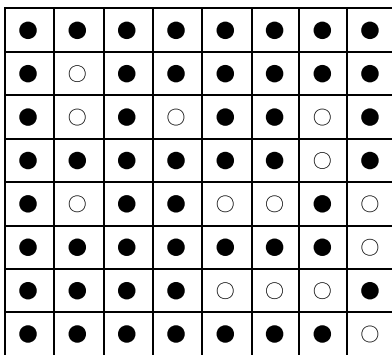
② 白のまとまりを計算する。

$$2 \times 7 = 14$$

③ 全部の数から白の数をひく。

$$8 \times 8 = 64$$

$$64 - 14 = 50 \quad \underline{50 \text{ 個}}$$



<考え方2>

① 全部の数を計算する。

$$8 \times 8 = 64$$

② 白の数を数える。

$$14 \text{ 個}$$

③ 全部の数から白の数をひく。

$$64 - 14 = 50 \quad \underline{50 \text{ 個}}$$